

評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 31 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572809382号
法人名	特定非営利活動法人 エヌピーオー社会福祉事業振興会
事業所名	グループホームすずらん稲川
所在地	湯沢市川連町字大館川原120 (電話) 0183-42-5294
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成22年3月18日

【情報提供票より】 (平成22年2月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 6 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 (常勤 16 人 非常勤 常勤換算 16.0 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2 階建ての ~ 1、2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000~22,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	8 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.1 歳	最低 71 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	七山医院、川連歯科
---------	-----------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

法人理念「創」に基づき、利用者と家族、職員や地域との関係づくりに努め、利用者一人ひとりが安心して生活できるよう柔軟にケアすることを事業所独自の理念に掲げている。
 そのため、「生活リズムシート」に利用者一人ひとりの生活の様子を記録し、「苦情要望ノート」や「起きてしまったノート」を活用して原因と対応策を詳細に記録しながらケアの向上につなげている。
 また、養護学校の実習生を受け入れたり、卒業生を職員の一員として迎え入れるなど、障害者の社会参加の機会をつくり社会貢献している。
 さらには、月2回の事業所周辺のゴミ拾いにより地域環境の美化に努め、事業所の一角に「ふれあいサロン」を設置して地域との交流スペースを確保するなど、地域に密着した福祉拠点をめざしているため、今後も積極的に取り組んでほしい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価結果を受け、意見箱の設置や終末期における対応方針の明確化、スプリング設置など具体的な取り組みや改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎に職員間で話し合いながら自己評価に取り組み、管理者が一つにまとめており、その結果を共有して改善策を検討している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議には利用者の生活や運営状況のほか、事故ケースや外部評価結果も報告しており、課題提起やインフルエンザ対策など改善に向けて検討している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱の設置や「苦情要望ノート」への記載により家族の意向を把握し、床屋の料金を安くするため出張床屋とするなど意見を反映させている。 また、前回評価結果に伴う家族アンケート結果から改善計画を作成し、食事面の充実や職員の紹介・認識方法など検討しながら改善につなげている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の夏祭りに近隣住民を招待したり、散歩を兼ねて事業所周辺の土手のゴミ拾いを行っているほか、「ふれあいサロン」を設置して地域交流スペースを確保するなど、地域密着型の事業所として地域に貢献したいと意欲的である。

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	スタッフ全員が見易いところに全体の理念と稲川の理念が、掲げられており常に再確認しながら仕事ができるようになっている。 スタッフ全員が見易いところに全体の理念と稲川の理念が、掲げられており常に再確認しながら仕事ができるようになっている。	○	スタッフだけでなく、家族や、ご利用者の方々にも見て頂けるように玄関前や相談室へ手作りで掲示し今後も今まで以上、取り組めるよう心がけている。	○	法人理念「創」に基づき「柔軟なケアと安心した生活」を事業所の行動指針とし、利用者や家族、職員や地域との関係づくりにより、利用者一人ひとりがその人らしく生活できることを事業所独自の理念に掲げている。	○ 前回評価でも課題としているが、地域との関わりが十分とはいえないこともあり、地域密着型サービスの役割や機能を再確認し、改めて地域との関わりを理念に盛り込むとともに、パンフレット等にもわかりやすく明示するなど、地域住民等への理解と周知に向けて検討してほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	掲示し共有しているが個々が理解して業務に取り組んでいるか、あるいは、毎日の業務におわれ取り組みめないのが現状である。 掲示し共有しているが個々が理解して業務に取り組んでいるか、あるいは、毎日の業務におわれ取り組みめないのが現状である。	○ ○	ミーティング等で例を取り上げ意識づけし、スタッフ全員が実践していけるよう理念を再構築するのも今後の一つの考えではないか。 職員個別の意識レベルに応じた、理念の勉強会が必要。	○	玄関や事務室に理念を掲示しているほか、文言だけでなく内容の理解を深めて日々の業務にあたるよう、ミーティングや申し送り時に理念の共有に努めている。	○ 管理者や職員の交代があるため、職員一人ひとりの経験年数や習熟度を考慮し、日々の実践例から理念を具体化して話し合うなど、さらなる理念の共有に努めてほしい。
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議にて地域のかたに（民生委員）出席していただいているが今ひとつ浸透しているか不明である。 家族への働きかけが不十分	○ ○	地域の広報へ掲載。アンケートの実施。 運営推進会議等で働きかけたり知ってもらえるような活			
2. 地域との支えあい								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出時等の挨拶実施。ふれあいサロンを開放しているが利用されていない。 外出時等の挨拶実施。ふれあいサロンを開放しているが利用されていない。	○ ○	広報への掲載や夏祭りへの招待。 ふれあいサロンの活用も見られず周辺の方々に立ち寄			
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りや清掃活動にて交流を深める。忘年会は地元で行っている。 夏祭りや清掃活動にて交流を深める。月2回の清掃散歩。	○ ○	買い物や行事の際の弁当は地元のスーパーや地元の店を利用するなどして努めている。 地域の行事に参加し交流をはかりたい。	○	事業所の夏祭りに近隣住民を招待したり、散歩を兼ねた事業所周辺の清掃活動を行っているほか、「ふれあいサロン」を設置して地域との交流スペースを確保している。	○ サロンの有効活用など地域との交流を深めることを前回評価で課題としているが、管理者の交代などもあり進展していないため、町内会への加入や運営推進会議を通じた取り組みの工夫など、職員全体で協力しながら地域との交流を促進してほしい。
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	スタッフには機会がないが全て管理者が行っている。 認知症高齢者の見守りネットワークに参加、協力している。	○ ○	事業所やスタッフで取り組めることがないか話し合い今後につなげていきたい。 事業所やスタッフで取り組めることがないか話し合い今後につなげていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用	各評価のまとめを行い揭示。評価の低かった項目に対し話し合い、改善にとりくんでいる。又、良く評価された事柄に対しても維持する努力をしている。			ユニット毎のミーティングなどで全職員が評価項目に沿って意見を出し合い、それを管理者が自己評価としてまとめている。 また、前回評価に伴う家族アンケートの結果を受けて改善計画シートを作成し、改善に向けて検討している。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各評価のまとめを行い揭示。評価の低かった項目に対し話し合い、改善にとりくんでいる。又、良く評価された事柄に対しても維持する努力をしている。	○	全員参加			
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	評価の報告とともに、今後のホームの課題について等々、各方面の方々から意見を出していただき現在に至る。	○	スタッフ全員で内容を把握していく。	2か月毎の運営推進会議には地域の民生委員が交代で参画しており、事業所の運営状況のほか外部評価結果も報告して意見交換している。 また、会議の内容はミーティング等で情報を共有し、前回評価に伴う家族アンケート結果に基づき、改善に向けた取り組みを検討している。	○	外部評価結果を報告しているため、評価における課題等を改善計画に反映させ、具体的な改善に向けた取り組みにつなげてほしい。
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の報告とともに、今後のホームの課題について等々、各方面の方々から意見を出していただき現在に至る。	○	スタッフ全員で内容を把握していく。議事録の回覧。			
6	9	○市町村との連携	管理者が中心となり行っている。特に入所時に行き来する機会が多い。			利用時の情報収集や権利擁護事業利用に関して随時相談・連携しており、昨年11月のスプリングラー設置時には行政の助成を受けている。	○	管理者が認知症サポーターキャラバンメイトに登録しているため、地域包括支援センターと連携して地域のサポーター養成に携るなど、積極的に行政との関わりを広げてほしい。
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が中心となり行っている。特に入所時に行き来する機会が多い。					
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用	パンフレット等は、あるので目にする機会はあるが学ぶ機会は設けてない。実際、入所されている方のなかには活用されている方もいる。	○	OJTの実施が必要である。			
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	パンフレット等は、あるので目にする機会はあるが学ぶ機会は設けてない。実際、入所されている方のなかには活用されている方もいる。	○	OJTの実施が必要である。			
11		○虐待の防止の徹底	虐待防止の研修参加者を中心にOJTを実施している。					
		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修参加者を中心にOJTを実施している。	○	OJTは実施しているものの、まだまだ不十分である為今後も勉強会をおこなう必要あり。			
4. 理念を実践するための体制								
12		○契約に関する説明と納得	入所時、管理者が説明を行っている。					
		契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、管理者が説明を行っている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
13	○運営に関する利用者意見の反映	苦情、要望ノートを作り、対応している。						
		利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、要望ノートを作り、対応している。					
7 14	○家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	請求書の郵送と一緒に前月のご様子を記載した報告書、出納帳のコピー、各レシートも送るスタッフの移動等については、すずらん便で報告する。			「すずらん便り」を毎月発行し、写真を多く添えて利用者の様子を伝えているほか、月間報告書で利用者一人ひとりの生活状況や金銭管理状況などの詳細を報告している。 また、不定期の「ミニすずらん便り」や面会時などでも随時情報提供している。		
		請求書の郵送と一緒に前月のご様子を記載した報告書、出納帳のコピー、各レシートも送るスタッフの移動等については、すずらん便で報告する。						
8 15	○運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、意見箱の設置。文書にてご家族への連絡時に一言、添えている。	○		前回評価結果を受けて意見箱を設置し、面会時など家族との関係づくりに配慮しながら意見や要望の把握に努め、「苦情要望ノート」にまとめて順次対応している。 また、前回評価結果に伴う家族等アンケート結果を受け、改善計画シートに基づき具体的な対策を検討している。	○	現在の取り組みに加え、独自の意向調査を実施したり、家族会の設置して意見を集約するなど、潜在的な意向を把握してサービスの改善につなげてほしい。
		苦情、意見箱の設置。文書にてご家族への連絡時に一言、添えている。	○	今後も気軽に意見をもらえるように工夫したい。				
16	○運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に一度職員との面談あり。その際、意見を述べる機会が設けられている。					
		年に一度職員との面談あり。その際、意見を述べる機会が設けられているが反映されていない。						
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	5交代制の実施。必要に応じた、勤務の交代あり。	○	緊急時等、呼び出しにて人員確保する。余裕がある場合は、日勤を一人増員している。			
		5交代制の実施。必要に応じた、勤務の交代あり。しかし、現状は、きびしい。	○	緊急時等、呼び出しにて人員確保する。余裕がある場合は、日勤を一人増員している。				
9 18	○職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	時として湯沢への異動がある。又、離職によりやむおえず異動となる場合があり、入居者の方には、この事が負担になっている部分も大である。	○	介護福祉士資格の取得。離職をなくすための配慮が必要。	法人内の異動や離職時には職員同士で連携・協力しながら利用者に関わり、利用者の不安が強い場合は、異動した職員が訪問してコミュニケーションを図るなど配慮している。		
		時として湯沢への異動がある。又、離職によりやむおえず異動となる場合があり、入居者の方には、この事が負担になっている部分も大である。	○	介護福祉士資格の取得。離職をなくすための配慮が必要。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加を設けている。			前回評価結果を受けて年間研修計画を作成し、事業所の内部研修も実施して研鑽に努めている。	○	職員一人ひとりの目標を明確にし、習熟度や希望を反映させた具体的な内部・外部研修を作成するとともに、研修内容を記録に残し、復命等により研修成果の共有に努めてほしい。
		研修への参加を設けている。	○	OJTの継続。				
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者の交流はあるもののスタッフ間の交流はない	○	グループホームの相合勉強会に参加したいと思っている。	県の連絡協議会に加入しているほか、圏域の湯沢市GHネットワークにより地域の他事業所管理者や職員同士で交流して情報収集に努め、職員間で共有している。	○	県主催の交換研修会に参加したり、圏域のネットワークを生かして他事業所との訪問交流を行うなど、互いにスキルアップできるよう取り組んでほしい。
		管理者の交流はあるもののスタッフ間の交流はない	○	グループホームの相合勉強会に参加したいと思っている。				
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	有給を使用してのストレスが溜まらないようにという配慮はしている。	○	他に楽しみを作ったり、話を聞くなどの時間を取っていききたい。			
		面談の実施。	○	他に楽しみを作ったり、話を聞くなどの時間を取っていききたい。				
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得にむけての推奨。研修への参加をはたらかける。	○	メンタルな部分に働きかけ向上心を持ってもらうことが今、重要と思う。			
		資格取得にむけての推奨。研修への参加をはたらかける。	○	メンタルな部分に働きかけ向上心を持ってもらうことが今、重要と思う。				
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ケアプラン作成時の傾聴やお茶の時間、又ちょっとした会話の中からお本人の気持ちがわかる事が多々ある。その事を真摯に受け止めてその方を理解しようと努力している。	○	話し合ったりと、もっと向き合う時間を多くしていきたいと思う。			
		ケアプラン作成時の傾聴やお茶の時間、又ちょっとした会話の中からお本人の気持ちがわかる事が多々ある。その事を真摯に受け止めてその方を理解しようと努力している。	○	話し合ったりと、もっと向き合う時間を多くしていきたいと思う。				
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者がメインであるが面会時等、話を聞く機会をつくっている。	○	家族の方々が安心して相談ができるような柔軟な対応を心がけていく。			
		管理者がメインであるが面会時等、話を聞く機会をつくっている。	○	家族の方々が安心して相談ができるような柔軟な対応を心がけていく。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者との話し合いあり。					
			管理者との話し合いあり。					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入所前の見学等。			管理者及び職員が自宅を訪問し、ケアマネジャーや家族と連携して情報収集に努め、事前の見学や十分な話し合いを経て利用者が納得したスムーズな利用につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常での会話の中で教えを受けたりとする事が多い。しかしながら、一方的な対応も見受けられる。	○	人生の先輩として敬う気持ちを忘れずに共にホームで暮らす人として接していかなければいけない。管理者としてこの事をスタッフに伝えていかなければいけない。日頃より提唱する事を続ける。	料理下ごしらえや畑づくり、お茶の出し方などの礼儀作法や掃除の仕方、男性職員がエプロンの結び方を学ぶなど、利用者が長年培ってきた知恵や経験を職員が実際の生活に反映させ、支え合って生活している。		
			日常での会話の中で教えを受けたりとする事が多い。しかしながら、一方的な対応も見受けられる。	○	人生の先輩として敬う気持ちを忘れずに共にホームで暮らす人として接していかなければいけない。管理者としてこの事をスタッフに伝えていかなければいけない。日頃より提唱する事を続ける。			
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加、通院や電話での相談等、協力をいただいている。又ケアプランを説明し一緒に支えようと努力している。			家族への協力をもっと促したい。		
			行事への参加、通院や電話での相談等、協力をいただいている。又ケアプランを説明し一緒に支えようと努力している。	○				
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人の状態報告、又は、電話連絡にて話し、ご本人もホームで頑張られていることなどはなししている。	○	色々な事を今後も話し合っていかなければならない。			
			ご本人の状態報告、又は、電話連絡にて話し、ご本人もホームで頑張られていることなどはなししている。	○	色々な事を今後も話し合っていかなければならない。			
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出の実施。					
			面会や外出の実施。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気分転換を兼ねての席替えやコミュニケーションがとれるようスタッフが中に入り支援している。	○	もう少し入居者同士の仲をふかめてもらうために皆と一緒に出来るレクリエーションを取り入れたい。				
		気分転換を兼ねての席替えやコミュニケーションがとれるようスタッフが中に入り支援している。	○	もう少し入居者同士の仲をふかめてもらうために皆と一緒に出来るレクリエーションを取り入れたい。				
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても荷物の保管なども、うけている。						
		契約が終了しても荷物の保管なども、うけている。						
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に発言される会話の中で聴いた後、記録へ残してケアプランへ反映している。	○	ケース記録の参照やモニタリングで細かく話し合う必要あり。	普段の何気ない日常生活の中で、利用者との会話を管理日誌に詳細に記録しており、思いを表出できない方の意向の把握に努めながらミーティングで検討、共有している。		
			日常的に発言される会話の中で聴いた後、記録へ残してケアプランへ反映している。	○	ケース記録の参照やモニタリングで細かく話し合う必要あり。			
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所するにあたって聞き取りした内容を管理者がまとめ、スタッフ全員が把握できるようになっている。	○	入所後もその方の生活歴等の把握に努める。				
		入所するにあたって聞き取りした内容を管理者がまとめ、スタッフ全員が把握できるようになっている。	○	入所後もその方の生活歴等の把握に努める。				
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活リズムシートによる心身の把握。（BPSDシートの活用など）	○	表情、言動、行動等の記録。リズムシートを最大限に活かす為にこまめな記入を行う。				
		生活リズムシートによる心身の把握。（BPSDシートの活用など）	○	表情、言動、行動等の記録。リズムシートを最大限に活かす為にこまめな記入を行う。				
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成後月1度のモニタリングにて見直しする。	○	担当者が変更したところを記入し、ケアプランに反映している。	計画作成担当者が利用者及び家族の意見を聴き取り、カンファレンスで職員全体の意見を確認しながら介護計画を作成している。 また、アセスメントは利用者本人の言葉で記載し、困難な場合は家族の意向を確認のうえ計画に反映させている。		
			ケアプラン作成後月1度のモニタリングにて見直しする。	○	担当者が変更したところを記入し、ケアプランに反映している。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16	37	○現状に即した介護計画の見直し	その方に応じたケアプランの期間を考え実施し、見直しを行っている。入、退院時、新たに作成する。			毎月のモニタリングにより3か月毎に見直しを基本としているが、利用者の心身状態の変化や職員の気づきなどに応じて見直し期間を設定している。	○	実際のケア内容が計画の見直しとして反映されていないケースが散見されたため、計画に基づいたケアとなるよう期間ごとの見直しを徹底してほしい。
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その方に応じたケアプランの期間を考え実施し、見直しを行っている。入、退院時、新たに作成する。					
17	38	○個別の記録と実践への反映	管理日誌、リズムシートに記入し、情報を共有する。申し送りの実施をおこない実践や見直しに活かしている。	○				
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌、リズムシートに記入し、情報を共有する。申し送りの実施をおこない実践や見直しに活かしている。モニタリングの実施。	○				
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援	その時々々の要望には、応じているつもりであるが。			緊急時や家族に代わっての受診のほか、毎週水曜日は職員と共に周辺のゴミ拾いをするなど、地域環境の美化に貢献している。 また、養護学校の生徒を職場実習として受け入れ、卒業生を雇用するなど障害者の社会参加の機会を提供している。	○	事業所内の「ふれあいサロン」の有効活用を前回評価からの課題としているため、定期的に家族が集い意見を出し合う場としたり、地元社会福祉協議会が実践しているサロンのノウハウを生かすなど、地域の福祉拠点としての機能発揮に努めてほしい。
		本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々々の要望には、応じているつもりであるが。					
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
40		○地域資源との協働	受診時の医療機関との連携。生保利用により行政担当者との協力。地域でのご本人の買い物。床屋。	○	地域での各行時への参加を考えていきたい。			
		本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	受診時の医療機関との連携。生保利用により行政担当者との協力。地域でのご本人の買い物。床屋。	○	地域での各行時への参加を考えていきたい。			
41		○他のサービスの活用支援	地域でのケア会議に出席。他施設入所への働きかけ					
		本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域でのケア会議に出席。他施設入所への働きかけ					
42		○地域包括支援センターとの協働	権利擁護を利用している方々については、社会福祉協議会と協働している。					
		本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護を利用している方々については、社会福祉協議会と協働している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援	定期的受診、緊急受診と、状態により適切な医療受診の支援をしている。受診した際、家族には報告をし、ご理解をいただいている。			利用前のかかりつけ医を確認し、協力医についても説明のうえ理解を得ており、利用者の希望に沿ってかかりつけ医への定期受診を支援しているほか、必要に応じて協力医や歯科医への受診も支援している。		
		本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的受診、緊急受診と、状態により適切な医療受診の支援をしている。受診した際、家族には報告をし、ご理解をいただいている。					
44	44	○認知症の専門医等の受診支援	協力医で内科の医師ではあるが、認知症に関して理解してくださっている。					
		専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医で内科の医師ではあるが、認知症に関して理解してくださっている。					
45	45	○看護職との協働	受診時に相談する。					
		利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診時に相談する。					
46	46	○早期退院に向けた医療機関との協働	入院した際、生活面においては、ホームで支援している。(不足品の購入)洗濯物の回収など。又、状態の報告が看護師、医師よりあり。	○		医師によっては家族でないことによって情報を提供しただけでないこともあり。緊急の手術の場合の時などもスムーズな対応が成されなかったこともあり、入院時にきちんとした話し合いをしておかなければいけない。		
		利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際、生活面においては、ホームで支援している。(不足品の購入)洗濯物の回収など。又、状態の報告が看護師、医師よりあり。	○				
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有	かかりつけ医からのコンタクトもあり、他施設への入所申し込みを勧め、申し込みをされている。	○	入居者全員が申し込みをしているわけではないので今後は、全ての方について申し込みを家族に促していきたい。	利用者が重度化した場合には、かかりつけ医と連携しながら他施設を利用することを方針としており、利用契約時にも説明し、必要性に応じて申し込みを勧めている。	○	重度化した場合の対応を家族にも説明しているが、事業所の終末期における対応方針を書面で明確にするとともに、家族の同意書も含めて整備してほしい。
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医からのコンタクトもあり、他施設への入所申し込みを勧め、申し込みをされている。	○	入居者全員が申し込みをしているわけではないので今後は、全ての方について申し込みを家族に促していきたい。			
48	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援	かかりつけ医への相談。私たちのグループホームで出来る支援をスタッフ全員で把握している。					
		重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医への相談。私たちのグループホームで出来る支援をスタッフ全員で把握している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
		<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>自宅で使用していたものを引き続きホームで使っ て頂く。特に入所時は、ご家族とこまめな連絡を とりあう。</p>	○	<p>今後も引き続き安心して暮らせるようにご家族と の連携に努めていく。</p>			
	49		<p>自宅で使用していたものを引き続きホームで使っ て頂く。特に入所時は、ご家族とこまめな連絡を とりあう。</p>	○	<p>今後も引き続き安心して暮らせるようにご家族と の連携に努めていく。</p>			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
	20	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉づかい、声かけや対応の仕方など配慮に欠け ている場面が見られる。</p>	○	<p>今後も個々に気をつけ、お互いに注意し合う事も 必要。</p>		<p>トイレ誘導の際には利用者の排泄状況を把握し てさり気なく声をかけ、利用者の肩をたたくなど 周囲に配慮し、尊厳の保持に努めながら支援して いる。</p>	
	50		<p>言葉づかい、声かけや対応の仕方など配慮に欠け ている場面が見られる。記録物など事務所に入 ると誰でも見ることが出来る。</p>	○	<p>今後も個々に気をつけ、お互いに注意し合う事も 必要。記録物の保管のあり方を考える。</p>		<p>また、個人記録類は事務室の書庫に保管してお り、個人情報の取り扱いも書面で明確にしてい る。</p>	
	51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働き かけたり、わかる力に合わせた説明を 「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で 決めたり納得しながら暮らせるように支 援をしている</p>	<p>色々な場面でご本人の話を聞き、気持ちを察し対 応している。ケアプランにも挙げて支援してい る。</p>	○	<p>もっと自分の意志で選択出来る場面の提供。尊厳 についての勉強会が、必要。</p>			
	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している</p>	<p>スタッフの業務優先となっている事が多い。</p>	○	<p>今日をどんなふうに過ごされたいのか毎日とはい かないまでも会話を通して察し、希望に沿った1日 となるよう今後も心がけていきたい。</p>		<p>夏場に一人で入浴する方や布団を敷いて寝る方 など、利用者の生活リズムを尊重して柔軟に支援 している。</p>	
	52		<p>スタッフの業務優先となっている事が多い。</p>	○	<p>今日をどんなふうに過ごされたいのか毎日とはい かないまでも会話を通して察し、希望に沿った1日 となるよう今後も心がけていきたい。</p>		<p>また、全盲の方の食事場面では利用者のペース に合わせてゆっくりと見守りながら声をかけ、介 助している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
	53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれが できるように支援し、理容・美容は本人 の望む店に行けるように努めている</p>	<p>会話の中でその方の身だしなみを褒めたりという 事を心掛けている。一人だという事がなかなか」 こんな方には、鏡に向かっていただいたり という事も行う。歩ける方は、床屋へ、なかなか困 難な方は、出張床屋にきてもらう。定期的に実施 している。</p>	○	<p>ご本人の希望と家族の意向が異なる場合がある が、ご本人の希望が叶うように家族とも話してい きたい。</p>			
	53		<p>会話の中でその方の身だしなみを褒めたりという 事を心掛けている。一人だという事がなかなか」 こんな方には、鏡に向かっていただいたり という事も行う。歩ける方は、床屋へ、なかなか困 難な方は、出張床屋にきてもらう。定期的に実施 している。</p>	○	<p>ご本人の希望と家族の意向が異なる場合がある が、ご本人の希望が叶うように家族とも話してい きたい。</p>			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
22	54	○食事を楽しむことのできる支援	出来る範囲でしていただいている。	<input type="radio"/>	外食、出前、弁当購入、誕生日にケーキ購入など食べる楽しみを提供している。	利用者が調理や配膳、片付けなどを手伝い、各自の食器や箸を使用したり、ユニット毎に献立を変えるなど配慮している。 また、食事やおやつバイキングを取り入れ、外食や出前などでも食事を楽しめるよう工夫している。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲でしていただいている。	<input type="radio"/>	外食、出前、弁当購入、誕生日にケーキ購入など食べる楽しみを提供している。色々なかたちで、個々の入居者さんが参加出来るように工夫する。			
	55	○本人の嗜好の支援	嗜好を把握し、出来るだけ提供する事に努めている。					
		本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好を把握し、出来るだけ提供する事に努めている。					
	56	○気持ちよい排泄の支援	時間での誘導と、声かけによる誘導を行っている。排泄時には、膝かけを使用している。一人で排泄を行える方にたいしても、場合によっては、扉の外で待機することもあり。	<input type="radio"/>	声かけ等、配慮に欠けている場合もあり、気を付けていかなければいけない。			
		排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	時間での誘導と、声かけによる誘導を行っている。排泄時には、膝かけを使用している。一人で排泄を行える方にたいしても、場合によっては、扉の外で待機することもあり。	<input type="radio"/>	声かけ等、配慮に欠けている場合もあり、気を付けていかなければいけない。膝掛けの使用をしている。			
23	57	○入浴を楽しむことができる支援	希望の時間を取り入れている。入浴出来ない日には足浴を実施している。	<input type="radio"/>	更に入浴が楽しみと思えるような取り組みをしていきたい。	週2～3回の日中の時間帯を基本の入浴日としているが、毎日や同性介助など利用者の希望や状態に応じて入浴を支援している。 また、心身状態により入浴が困難な場合や拒む方には、日時や職員を変えたり、足浴を行うなど配慮しており、温泉などにも出かけて入浴を楽しめるよう工夫している。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	希望の時間を取り入れている。入浴出来ない日には足浴を実施している。	<input type="radio"/>	更に入浴が楽しみと思えるような取り組みをしていきたい。			
	58	○安眠や休息の支援	時々の状況に応じて、ご本人の気持ちを確認して支援している。	<input type="radio"/>	床に座りたいと希望される方おり、その方に合った休まれ方を試行錯誤中。			
		一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	時々の状況に応じて、ご本人の気持ちを確認して支援している。	<input type="radio"/>	床に座りたいと希望される方おり、その方に合った休まれ方を試行錯誤中。			
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	いつもとは、いかないが買い物、外出、外食等々気晴らしの支援をしている。	<input type="radio"/>	ホームの中で楽しみごとを増やす事が出来ればもっと張り合いのある生活が出来るのではないかと思います。思い取り組んでいきたい。	配膳や後片付け、洗濯物たたみ、草むしりなど利用者が状態に応じて役割を担っている。 また、書道や俳句、花や畑づくりなど気晴らしや楽しめる活動を支援している。	<input type="radio"/>	前回評価でも課題としているが、生活に張り合いや生きがいを持てるよう生活意欲を引き出すなど、利用者一人ひとりへの関わり方を工夫してほしい。
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	いつもとは、いかないが買い物、外出、外食等々気晴らしの支援をしている。	<input type="radio"/>	ホームの中で楽しみごとを増やす事が出来ればもっと張り合いのある生活が出来るのではないかと思います。思い取り組んでいきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人で所持し買い物できる方には、一緒に買い物に行き購入していただいている。持っても紛失当のある方に対しては、ご家族の了解も得て持っていただいている。						
		一人で所持し買い物できる方には、一緒に買い物に行き購入していただいている。持っても紛失当のある方に対しては、ご家族の了解も得て持っていただいている。						
25 61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の事をその日とは、必ずしも出来ないが外出の支援は実施している。	○	希望が早めの実現出来るように対応していきたい。	近隣スーパーへ週1回程度買い物に出かけたり、受診の際にも買い物や外食するなど、できる限り外に出る機会をつくっている。 また、毎週水曜日に事業所周辺の土手などをゴミ拾いしながら散歩しており、車イスの方は少人数での外出を支援している。			
		その日の事をその日とは、必ずしも出来ないが外出の支援は実施している。	○	希望が早めの実現出来るように対応していきたい。				
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	他の入居者さんと共にという事は、あってもご家族とという事はなかった。	○	もっと皆さんから聞き取りが必要と思う。出された内容をもとに取り組んでいきたい。				
		他の入居者さんと共にという事は、あってもご家族とという事はなかった。	○	もっと皆さんから聞き取りが必要と思う。出された内容をもとに取り組んでいきたい。				
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の申し出のあった方に対しては、支援している。	○	全員ができるように、していきたいと思う。				
		電話の申し出のあった方に対しては、支援している。	○	全員ができるように、していきたいと思う。				
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時には、居室あるいはサロンにて好きな場所で過ごしていただけるよう、お声かけをしている。						
		面会時には、居室あるいはサロンにて好きな場所で過ごしていただけるよう、お声かけをしている。						
(4) 安心と安全を支える支援								
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	正しく理解しているかは疑問であるので、内外の研修必要である。				
		拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	正しく理解しているかは疑問であるので、内外の研修必要である。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	夜間以外は施錠していない。			日中は玄関に施錠しておらず、各階の廊下にモニターを設置したり、職員の見回りや気配り、付き添いなどで利用者の安全確保に努めている。 また、2階の階段入口には危険防止のため夜間のみ施錠しているほか、運営推進会議を通じて近隣警察にも協力を依頼している。	○	前回評価でも課題としているが、近隣住民や関係機関を含めて地域全体で利用者を見守る体制づくりに向け、認知症及び事業所に対する理解促進に努めてほしい。 また、実際の火災事故は夜間が多いため、夜間を想定した避難訓練を実施するなど、
			夜間以外は施錠していない。					
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、一緒に過ごしなが様子把握したり、夜間もまめな巡視に努めている。					
			プライバシーに配慮し、一緒に過ごしなが様子把握したり、夜間もまめな巡視に努めている。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	明らかにその方にとって危険な物品は周りにおかないこととしている。スタッフ全員把握している。	○	その方の状態が変わることによって、この事は変わってくるので、その都度、把握していきたい。			
			明らかにその方にとって危険な物品は周りにおかないこととしている。スタッフ全員把握している。	○	その方の状態が変わることによって、この事は変わってくるので、その都度、把握していきたい。			
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の身体の状態を把握しており、事故防止のための知識はある。「ひやりはっと」「おきてしまった」ノートの活用で事故を未然に防ごうという取り組みをしている。	○	誰が一番大変な思いをしているのか？更に意識付けをする為にOJTの開催予定あり。			
			一人一人の身体の状態を把握しており、事故防止のための知識はある。「ひやりはっと」「おきてしまった」ノートの活用で事故を未然に防ごうという取り組みをしている。	○	誰が一番大変な思いをしているのか？更に意識付けをする為にOJTの開催予定あり。			
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	講習は受けているが定期的ではないのでイザという時の対応が出来るのか不安はあり。	○	定期的な指導をうけていきたい。			
			講習は受けているが定期的ではないのでイザという時の対応が出来るのか不安はあり。	○	定期的な指導をうけていきたい。			
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災の訓練は、実施しているが近隣の方々の協力を得られるような働きかけは行っておらず。	○	地域の方の協力が得られるような働きかけをしていきたい。	消防計画に基づいた避難訓練や自主訓練を実施しているほか、防火設備の自主点検やスプリンクラー設置など、緊急災害時に備えている。	○	実際の火災事故は夜間が多いが、昨年11月のスプリンクラー設置以降は訓練を実施できていないため、夜間を想定した訓練も含め早急の実施してほしい。 また、前回評価で課題としている避難訓練への近隣住民の参加について、町内会や運営推進会議を通じて働きかけ、実際の役割も明確にしながら連携・協力体制を整えてほしい。
			火災の訓練は、実施しているが近隣の方々の協力を得られるような働きかけは行っておらず。	○	地域の方の協力が得られるような働きかけをしていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会に来られた際に家族に説明すると同時にホームの意向も話ししている。 面会に来られた際に家族に説明すると同時にホームの意向も話ししている。					
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	リズムシートの記録、申し送りにて早めの対応に心がけている。早めの受診を心掛けている。 リズムシートの記録、申し送りにて早めの対応に心がけている。早めの受診を心掛けている。					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の一覧表を作成し、掲示し、スタッフ全員が分かるようになっている。薬の準備時、名前、薬の確認（数）し、袋に記入している。薬、服薬についてわからない時には、薬局の薬剤師に問い合わせたりしている。 薬の一覧表を作成し、掲示し、スタッフ全員が分かるようになっている。薬の準備時、名前、薬の確認（数）し、袋に記入している。薬、服薬についてわからない時には、薬局の薬剤師に問い合わせたりしている。	○ ○	薬についてのOJTを開いているが定期的な勉強が必要と思われる。 薬についてのOJTを開いているが定期的な勉強が必要と思われる。			
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	週3回の牛乳の提供。繊維の多い野菜の提供。おやつに寒天を使用する。体操の実施。 週3回の牛乳の提供。繊維の多い野菜の提供。おやつに寒天を使用する。体操の実施。					
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き、うがい、義歯の殺菌などその方に適した口腔のケアを実施している。 歯磨き、うがい、義歯の殺菌などその方に適した口腔のケアを実施している。					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	リズムシートの記録を見ると時間毎の水分摂取の量がわかるようになっている。午前の食事量、水分の摂取量など把握し、午後につないでいく。 リズムシートの記録を見ると時間毎の水分摂取の量がわかるようになっている。午前の食事量、水分の摂取量など把握し、午後につないでいく。			○	ユニット毎に献立が異なり、利用者の咀嚼状況や嗜好に合わせて調理方法や食事量を工夫しており、生活リズムシートに一日の食事や水分摂取量を詳細に記録して利用者一人ひとりの栄養面に気を配っている。 前回評価でも課題としているが、栄養士等の専門家から定期的に献立をチェックしてもらうことについて、地域包括支援センターなどに相談して適任者を紹介してもらうなど、事業所から積極的に働きかけてほしい。	

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ハイター、モーリス、アルコールによる消毒の徹底に努める。手洗い、うがいの実施、場合によりホームないに於いてもマスクの装着も行っている。						
		ハイター、モーリス、アルコールによる消毒の徹底に努める。手洗い、うがいの実施、場合によりホームないに於いてもマスクの装着も行っている。						
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夕食後、熱湯とハイターを使用し包丁、俵板の消毒に努める。おしぼりは、毎食後、洗濯している。期限内の食材使用に努める。						
		夕食後、熱湯とハイターを使用し包丁、俵板の消毒に努める。おしぼりは、毎食後、洗濯している。期限内の食材使用に努める。						
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植木があり、広い敷地なので出入りしやすい。	○	雪が消えたら、もう少し入居者の皆さんと、手入れする計画をたてたい。				
		植木があり、広い敷地なので出入りしやすい。	○	雪が消えたら、もう少し入居者の皆さんと、手入れする計画をたてたい。				
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	換気が不十分なときがある。スタッフの歩く足音、ドア開閉時の音など耳障りな時がある。	○	玄関先で色々な臭いが混じった臭いのする時があり換気にきをつけたい。又、ドアの開け閉め時の音にもスタッフ更に気を付けたい。	○	事業所内の廊下は広く、ホールも明るいため利用者が集まりやすく、ソファなどで思い思いに過ごせる空間となっている。 また、廊下には利用者の笑顔の写真を多く飾り、和やかな雰囲気づくりに努めている。	○	玄関の半分を洗濯物干し場としており、ホールの明るい雰囲気と景観を損ねているため、二階の空室を利用するなど工夫してほしい。
		換気が不十分なときがある。スタッフの歩く足音、ドア開閉時の音など耳障りな時がある。	○	玄関先で色々な臭いが混じった臭いのする時があり換気にきをつけたい。又、ドアの開け閉め時の音にもスタッフ更に気を付けたい。				
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2~3か所作り工夫はしているが、あまり利用されていないようである。	○	利用してもらえるような工夫が更に必要である。				
		2~3か所作り工夫はしているが、あまり利用されていないようである。	○	利用してもらえるような工夫が更に必要である。				
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が今まで使用してきた物を持って来ていただき使ってもらっている。掃除は週1回である。						
		本人が今まで使用してきた物を持って来ていただき使ってもらっている。掃除は週1回である。						
						居室には自宅で使用してきた古ダンスなど馴染みの家具を持ち込み、家族の写真などで装飾しているほか、ベットではなく布団を敷く方もおり、それぞれに落ち着ける空間をつくっている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓を開けての換気、温度調節をこまめにする。	○	夏場の温度調整についても工夫が必要である。				
		窓を開けての換気、温度調節をこまめにする。	○	夏場の温度調整についても工夫が必要である。				
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの取り付け。玄関にはスロープが付いている。ホーム内は、段差なし。						
		手すりの取り付け。玄関にはスロープが付いている。ホーム内は、段差なし。	○	入浴の際の補助具の取り付け、足りない箇所のですりの設置を考えていきたい。				
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各場所に、表示したり、各居室には、表札を掲げている。	○	もっと、わかり易い工夫がみつようである。				
		各場所に、表示したり、各居室には、表札を掲げている。	○	もっと、わかり易い工夫がみつようである。				
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑での野菜作り。花壇に花を植える。	○	皆で取り組んでいきたい。				
		畑での野菜作り。花壇に花を植える。	○	皆で取り組んでいきたい。				

※ は、重点項目。

項目		自己評価		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット(1階) ②：2ユニット()
		①	②	
V. サービスの成果に関する項目				
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・家族との繋がり、関係に重きをおいている。
・地域に向けた取り組みをしている。(夏祭り等)

・家族との繋がり、関係に重きをおいている。
・地域に向けた取り組みをしている。(夏祭り等)